

【黎明】 第1ステージ

平成26（2014）年度～

平成28（2016）年度

マーケティング講座

平成27年10月10日開催 (東京都世田谷区)

▶ 開催報告 (会誌4号より抜粋)



同窓会の活性化に向けて
更なる努力!

日本体育大学同窓会長
澁澤康二

本誌第4号が皆さんの手元に届く頃、母校日本体育大学は創立125周年の佳節の年を迎えています。先ずは、同窓会一同、こぞこの佳節を祝賀申し上げたい存じます。母校が創立以来数々の困難を乗り越えて今日、隆盛の時を迎えていることは誠に同窓の幸であります。この創立者、日高嘉吉郎先生はじめ、これまでご尽力いただいた先人、関係者諸氏に対し、謹んで厚美なる敬愛と感謝の意を表します。そして、私は今、改めてスポーツ文化を大切にする。また、同時にこの日体大で学べたこと大きな誇りを感じています。

さて皆さん、間もなく東京が再びオリンピック・パラリンピック大会がやります。この歴史的瞬間は、世界平和の手段として位置づけられているものでありますが、まさに日体大が培ってきたものであります。また、また同窓会が培ってきたものであります。それは、「闘った・負けた」というより丸く滑らかな意味ではありません。

もろみに感謝、私共時局に處てドイツの友人に語ったことが、「友誼は武器に勝る平和手段」が反響を呼びました。友誼を積み、盟の合には互い相手の幸せのためのに反力しなければ、暴く進めざるもものではありません。その意味におきましては、同窓、同窓のなかに親睦を深め、同窓会としてのスポーツ交流を行っている母校とそが第一たる政治的即断職員に対し、改めて厚美なる敬

愛と感謝の意を表したく存じます。

翻って、同窓会の現状について考えてみますと、目標の「同窓会の活性化」達成までにはまだかなりの距離が立ちだかっていると覚悟を得るべきです。その意味でも平成27年10月10日に実施した「マーケティング講座」は、同窓会活性化の前進には大きな貢献を成し遂げたことと評価したいと思います。今後、各地で行われます同窓会の研修会において、この講座で学んだマーケティング理論をうまく広げていくことが望まれます。

同窓会本報が、同窓生一人ひとりの心を理解し、彼らの幸せのために尽力できれば活性化に繋がらないということに肝に銘じて更なる努力をして参る所存です。幸いなことに、平成28年度入学生から学生身分のまま全同窓会の会員として入会して頂くことにあります。これもまた同窓会が培ってきた重要な場でもあります。それは、「闘った・負けた」というより丸く滑らかな意味ではありません。

また、また同窓会が培ってきたものであります。それは、「闘った・負けた」というより丸く滑らかな意味ではありません。

125周年を迎え、益々進化しつづける母校の応援として同窓会は、自らの活性化とともに母校の支援に努めて参りたいと存じます。今後とも引き続き同窓会員の皆さんとの協力をお願い申し上げます。

本報では、皆さんの協力で同窓会、同窓生からご参加をいただきました。

また、同窓会、そして同窓生ととりとりにとって、無効で、実効が可能なスキル(技能)や事例が紹介されましたので、ここでは、その一ををご紹介します。



同窓会の活性化・日体ファミリーの実現を目指し—
マーケティング講座 開催!

いくつもの困難を打破し、
新たな絆を築くための手法
マーケティングとは?

はじめに
日体ファミリーの合同企画
母校創立125周年を目前に控えた平成27年度、同窓会は大学、法人、保護者会と連携・協力のもと、10月10日、東京・世田谷キャンパスにおいて「成功事例に学ぶマーケティング講座」を開催しました。

- 1. 経営・人事・マーケティング・社会・人生・思考・発想・能力・機軸・力・能力を育成する。
- 2. それぞれの参加者が抱えている課題の解決手法を各分野の成功事例から学ぶ。

本講座には、在学生はもちろんのこと、保護者、教職員からもご参加をいただきました。また、同窓会、そして同窓生ととりとりにとって、無効で、実効が可能なスキル(技能)や事例が紹介されましたので、ここでは、その一をご紹介します。

このように広範囲にわたる課題の解決を促すべく、各職種の業務の効率化の推進、三者の関係の構築を促進するとともに「マーケティング」は不可欠なスキルだと定着してきています。

【開成づくりのための手法
それがマーケティング】
「マーケティング」という言葉は、誰でも一度は耳にしたことがあると思います。それはビジネス用語のひとつとして、「生産者が自分のつくった品をサービス、入会者へ提供し、消費者に渡らせる(売ってもらう)ための活動全般」のことをマーケティングと呼びます。かつて、日本が高度成長の途上であり、消費者に購買力があつたのは、「いいモノ」がなかったという時代でした。しかし、現代、たとえ消費者に購買力があつたとしても、「いいモノ」は必ずしもあつたわけではありません。実際、先行きの不安から、「いいモノ」であっても買いたくないという状況が多々見られます。

かつての高度成長期には、消費者は「いいモノ」がなかったとしても、ビジネスとして成功を収めることができました。しかし、「いいモノ」がなかったとしても、ビジネスとして成功を収めることはできません。実際、消費者が「いいモノ」を求めると、企業は「いいモノ」を提供する必要があるからです。マーケティングとは、消費者のニーズを把握し、それに応じた商品やサービスを提供することです。

講座で発表されたマーケティング成功事例

自治体での成功

「市民が多様なニーズを
市民サービスに
まわす」

本川拓治郎氏

地方での成功

地方で働く女性をサポート
ニーズに合った
サービス提供で成功

高橋真由美氏

ンプランを策定し、それを実行することができるのです。そして、そこで生まれる「開成づくり」の成果が、同窓会の活性化につながっていくのです。

また、マーケティングは、企業といった組織だけでなく、個人にも活用できる手法です。たとえば、「いいモノ」を自分の「得意」や「得意」の分野で、「いいモノ」を提供して、自分の得意分野で成功させる。あるいは、自分の得意分野で成功させる。あるいは、自分の得意分野で成功させる。あるいは、自分の得意分野で成功させる。

こんな人は、マーケティングが役に立ちます
▶家族や学校などで人間関係を良好なものにしたい人
▶先行きが不安で、将来の不安を解消したい人
▶自分の個性を活かして、社会に貢献したい人
▶自己啓発を身につけたい人

今後、同窓会は、変化の激しい時代を生きた人達と社会との架け橋となるべく、同窓会が、様々な機会を通じて、同窓会の活性化を図っていく所存です。

教育現場での成功

「子どもと保護者の
「不安」解消
家庭学習に
取り組む
教材を
開発」

高橋真由美氏

本講座には、在学生はもちろんのこと、保護者、教職員からもご参加をいただきました。また、同窓会、そして同窓生ととりとりにとって、無効で、実効が可能なスキル(技能)や事例が紹介されましたので、ここでは、その一をご紹介します。

ネオ県人会・水墨画×和楽器ライブ・ マネジメント研究会

平成28年11月4日～6日開催（東京都世田谷区）

▶ 開催報告（会誌6号より抜粋）

125周年 同窓会事業報告

Event

同窓会マネジメント研究会

11月5日(土)・6日(日) 日体食館

同窓会活性化に向けてアクティブ・ラーニング!

本研究では、一昨開催した「成功事例に学ぶマーケティング講座」の発展版として「同窓会の活性化」をテーマに、2日間の勉強会が行われました。

参加者は各都道府県支部からのキーパーソン、スポーツ経営学研究者、在野旅行日体大先輩のご協力により、同窓会の活性化をテーマとして参加。質疑を交えた活発な討議記録を残してくれました。

アドバイザーには在野活動をはじめ、中小企業支援・自治体のづくり・商店街の活性化などで活躍するプロのマーケティング・プランナーの方々を招き、当惑している難題に丁寧かつ的確な助言をいただきました。

ブロック内連携の在り方が挙げられました。アドバイザーからは「大学周辺地域の具体的なイメージを描いているか」「イベント案内の郵送にプラスして電話はしているか」「各年代や男女が同窓会に求めている価値は何か」などの問いかけがあり、活性化に向けた「仕組みづくり」が重要となっていました。

各支部からも課題への取組事例が紹介されました。第2日の前半は、世話人による「グループディスカッション」の形式と発表。後半は懇話アドバイザーの活躍時香氏から「対象者を絞ることの重要性・活性化の仕組みづくり」への理論的な示唆をいただきました。

懇話会で参加した学生たちも感想や意見を発表しました。質疑応答では「東京2020オリンピック・パラリンピックと日体大」がテーマに、全国の卒業生や後援を繋ぐビッグチャンスでの「体育・スポーツ産業に繋がる定款」を詳細している自治体と連携した五輪イベントの有効性が話題となりました。

Event

ネオ県人会：ふるさとフェア2016

「県人会」復活！学生・保護者会・同窓会が協働出店

11月4日(金)～6日(日) 世田谷キャンパス

第1日の「グループディスカッション」では、「課題意識をSWOT分析シート」を活用して各支部の現状・実態をシェア。確認された共通課題は、①何に頼るか、②高橋化です。具体的には、総会や研修会への参加者の固定化、支那役員の高齢化、平成卒など若年層の参加促進、保護者会との連携、卒業生の把握と異動・転居等の追跡、名簿の作成・管理、教員採用減や民間企業入社に伴う構成比の変化、新卒生進路に伴う会員の出口多様化、自都圏集中による地方出身学生・入会者の減少、支那年会費の滞り、都道府県を超えた連携・

第50回日体フェスティバル2016は天候にも恵まれて3日間で計14,000名の方が来場された大盛況でした。同窓会では県人会復活への取組みとして、学生・保護者会・都道府県同窓会が協力して行う物販販売会を開催し、山形県が「玉こんにゃく」を3年連続出店、神奈川県が「ホルモン焼き・焼きみかん」、山梨県が「柿」を、愛媛県が「早生みかん」を販売販売、いずれも2日目に早くも完売しました。

長崎県からは全国でも珍しい「能付け和菓履」(唐揚げ)また、法人と(体育・スポーツ復興に関する協定)を結ぶ自治体の一つ和歌山県みなべ町からは特産品の「梅」などがふるさとを賑わしました。なお、神奈川県「ズース」では日体大の創立125周年にちなんで、125人目の来場者に同窓会から記念品の贈呈がありました。参加された皆様ありがとうございました!



ネオ県人会・水墨画×和楽器ライブ・ マネジメント研究会

平成28年11月4日～6日開催（東京都世田谷区）

▶ 開催告知（会誌5号より抜粋）

創立125周年慶祝イベント

燃たる母校 セレブ125周年の節目をきっかけに
母校、学生・卒業生と共に進化し続ける同窓会

日体フェスティバル2016期間開催
東京・世田谷キャンパス

<p>平成28年度 同窓会事業の重点 Project 説明</p>	<p>1 学生支援 プロジェクト</p> <p>●在学生(学生会)への支援充実 ●学生と出身地(同窓会)とのつながり強化</p>	<p>2 活性化推進 プロジェクト</p> <p>●在籍創立125周年を記念 慶祝する事業の展開 ●マーケティング講座の継承による活性化の推進</p>	<p>3 県人会再生 プロジェクト</p> <p>●日体フェスティバル・県人会ブースの運営(継続) ●「ネオ県人会」の推進 *事務局：〒158-8501 世田谷キャンパス</p>
-------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

全国同窓の皆さん！「美の館」に集いましょう！

水墨画×和楽器コラボ即興ライブ

11月5日(土) 13:00～14:00 記念講堂

「美の館」は、日本画の技法を用い、伝統と現代の感性からアイデアを刺激し、つくりだす独自の表現を創造し続けるアーティスト。神奈川縣大和市出身。

★コラボライブ！
日体大出身オリリンピアンも
数人と一緒にライブアートを
開催予定です！

はじめての太鼓大鼓ライブの第一歩。林大輔氏に師事。2011年、日体大音楽ソロ公演を東京にて開催。2014年、市川島毛蔵自主公演「TABKA2014」に出演。静岡縣沼津市出身。

山田裕子(音楽家)：音楽学者、音楽評論家、地方一橋大学校長に転身。日本の伝統音楽を、古来の技術と学びながらオーリジナルの世界を追求。千葉県習志野市出身。

同窓会マネジメント研究会

11月5日(土) 14:30～17:00 日体会館

- 都道府県同窓会の現状
- ブロック討議
- 課題の共有
- 課題解決策

18:00～

11月6日(日) 9:00～12:00 日体会館

- グループ発表
- ディスカッション
- マネジメント講義
- 総括

★出席者は47都道府県同窓会事務局の中心を担う方々です
★6人のマーケティング専門家が研究会をサポートします

都道府県の運営・研修事業等に反映

ネオ県人会：ふるさとフェア2016

11月4日(金)・5日(土)・6日(日)

◎出店県：山形、神奈川、山梨、愛媛、長崎(予定)
なお、日時等についてはフェスティバル実行委員会と調整中です

- ◆コンセプト：同期・出身地つながり創生
- ◆ターゲット：在学生・卒業生
- ◆プロセス：学生-保護者会-同窓会の関係づくり
- ◆ツール：郷土の物産品・名産品・シンボルなど

★学生も多数出店します。「日体フェスティバル2016」の多彩なプログラムとともに楽しみください(大学のホームページ参照)

〔平成27年度出店例：横浜・鶴巻台キャンパス〕

山形県 山形市 山形県立中央大学
山梨県 山梨市 山梨県立中央大学
神奈川県 横浜市 神奈川県立中央大学

※同窓会誌「日體人」第4号(伊11)に掲載されました

参加自由
入場無料

第50回日体フェスティバル2016

コラボレーション
即興ライブアート

水墨画

水墨画：渡嶋ちよん

和楽器

和太鼓：はせみきた、笛：山田裕子

平成28年11月5日(土)
13:00～14:00
世田谷キャンパス 記念講堂

主催：日本体育大学同窓会

詳細は、同窓会誌「日體人 Vol.5」P.10～11をご覧ください。